

各 位

2017年10月4日  
近江トラベル株式会社

2017年西国三十三所 草々1300年 宝厳寺・長命寺 特別拝観  
**「彦根港～竹生島～長命寺港」特別運航について**  
 10月20日(金)・21日(土)2日限定「特別クルーズ」をお楽しみください

近江トラベル株式会社（本社：滋賀県彦根市、代表取締役：植田 重弘）では、2017年西国三十三所草創1300年特別拝観（宝厳寺・長命寺・観音正寺）を記念し、2017年10月20日（金）、21日（土）の2日間限定で、国宝・彦根城築城410年祭でにぎわう彦根港から西国三十三所第30番札所竹生島「宝厳寺」と第31番札所「長命寺」を結ぶ、彦根港発・竹生島（滞在60分）経由長命寺港行と長命寺港発・竹生島（滞在60分）経由彦根港行の観光船を特別運航いたします。

この機会に、西国三十三所第30番札所「宝厳寺」、第31番札所「長命寺」の特別拝観と秋のびわ湖クルーズを心ゆくまでお楽しみください。

記

1. 出 発 日      2017年10月20日（金）、21日（土）の2日間限定
2. 乗船定員      各日各便75名さま限定 ※予約制
3. 乗船料金      1名さま おとな4,000円、こども（小学生）2,000円  
 ※竹生島の入島料（おとな400円、こども300円）は含まれておりません。
4. 行 程          ①彦根港9：20発→竹生島（10：00着/11：00発）上陸60分  
                     →長命寺港12：30着  
                     ②長命寺港13：00発→竹生島（14：30着/15：30発）上陸60分  
                     →彦根港16：10着
5. アクセス      彦根駅⇔彦根港  
                     彦根港までは無料シャトルバス（彦根駅西口6番のりば）をご利用いただけます。  
                     彦根駅発（西口⑥番のりば）9：00 → 彦根港着9：08  
                     近江八幡駅⇔長命寺港  
                     長命寺港までは近江鉄道バス（近江八幡駅北口6番のりば）をご利用ください。

6. URL <http://www.ohmitetudo.co.jp/marine/>

7. ご予約・お問合せ

オーミマリン彦根港 TEL. 0749-22-0619

(受付時間 9:00~17:00、日曜・祝日ご予約可能)

## 竹生島～宝厳寺～

竹生島は、琵琶湖の長浜市葛籠尾崎沖約2kmに位置し、周囲約2kmの針葉樹で覆われた島です。西国第三十番札所の竹生島宝厳寺(ほうごんじ)や都久夫須麻神社(竹生島神社)があり、古くから「神を齋(いづ)く島」として信仰されてきました。また、琵琶湖八景(深緑)の一つとしても数えられています。

竹生島には、南側にこの島唯一の港があります。港に着いて上陸すると、琵琶湖周航の歌の一部を記した石碑があり、それを横目に進むと土産物店の気さくな店員さん達に迎え入れられます。

竹生島宝厳寺その昔、神亀元年(724年)聖武天皇が、夢枕に立った天照皇大神より「江州の湖中に小島がある。その島は弁才天の聖地であるから、寺院を建立せよ。すれば、国家泰平、五穀豊穰、万民豊楽となるであろう」というお告げを受け、僧行基を勅使としてつかわし、堂塔を開基させたのが始まりだそうです。その後、伝教大師、弘法大師なども来島し修業されたと伝えられています。

2016年4月、文化庁認定の日本遺産「琵琶湖とその水辺環境―祈りと暮らしの水遺産」を構成する文化財の1つとして追加認定されました。



唐門(国宝)



船廊下(重文)



観音堂(重文)



三重の塔



五重石塔(重文)



宝物殿



モチノ木

## 近江八幡～長命寺～

市の北西端、長命寺山（333m）の標高約250mの山腹にある寺院。西国三十三カ所第31番札所で、「八千年や柳に長き命寺、運ぶ歩みのかざしなるらん」という詠歌のとおり、「寿命長遠」の御利益があるとされています。3世紀後半から4世紀初頭の景行天皇の時代、武内宿禰（すくね）がこの山で長寿を祈ったといい、開基は聖徳太子と伝えられます。

平安時代前期に寺院の基盤ができたと考えられており、その後、近江守護佐々木定綱（さだつな）が戦死した父の菩提を弔うために、平安時代後期に本堂をはじめ、釈迦堂・薬師堂・太子堂・護摩堂（ごまどう）・宝塔・鐘楼・仁王門などを建立しました。現在の社殿は戦国時代中期に兵火で焼失したあと再建されたものです。

湖岸のそばから808段といわれる長い石段を登ると、諸堂の屋根の線が美しく重なりあっています。千手観音を本尊とし、聖観音・十一面観音・毘沙門天など多くの国指定の重要文化財が安置されており、その他、建造物のすべてが県あるいは市の指定文化財になっているという由緒ある寺院です。四季を通じて多くの参詣者が全国から訪れ、湖辺近くの山腹風景も美しいです。

### <重要文化財>

本堂、三重塔、鐘楼、護摩堂、絹本著色紅波璃阿弥陀像、絹本著色勢至菩薩像、絹本著色釈迦三尊像、綿本著色涅槃像、木造千手観音立像、木造地藏菩薩立像、木造毘沙門天立像、木造聖観音立像、木造十一面観音立像



以上